



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2025年11月6日

上場会社名 株式会社エディオン

上場取引所 東

コード番号 2730 URL https://www.edion.com/

代表者 (役職名) 代表取締役会長執行役員CEO (氏名) 久保 允誉

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理統括部長 (氏名) 新具 邦康 TEL 06-6202-6011

半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月1日

決算補足説明資料作成の有無： 有

決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	385,668	1.4	13,787	△4.9	14,353	△4.5	9,336	△6.9
2025年3月期中間期	380,500	7.9	14,498	34.5	15,027	36.0	10,031	39.0

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 9,731百万円 (△4.0%) 2025年3月期中間期 10,132百万円 (31.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	88.54	88.09
2025年3月期中間期	95.35	90.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	422,250	229,925	54.3	2,169.88
2025年3月期	434,830	222,946	51.2	2,122.68

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 229,443百万円 2025年3月期 222,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	23.00	—	24.00	47.00
2026年3月期	—	23.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	24.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	790,000	2.8	25,000	6.9	26,000	6.8	14,500	2.7	138.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 有
新規 一社（社名）一、除外 2社（社名）株式会社サンキュー、室山運輸株式会社
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	112,005,636株	2025年3月期	112,005,636株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	6,265,486株	2025年3月期	7,176,575株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	105,450,868株	2025年3月期中間期	105,207,839株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、アメリカの通商政策や中国経済の減速、継続した生活必需品の価格上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

しかしながら、国内においては大企業を中心とした設備投資が堅調に推移し、また、家計の節約志向は根強いものの、雇用・所得環境の改善などにより個人消費は全体として底堅い動きとなりました。加えて、大阪・関西万博2025の開催などによる国内外の人流の活発化もあり、国内の消費市場は増加基調を維持しております。

このような状況のもと、当企業グループは、さまざまな家電をまとめて操作できるIoT家電操作アプリ「エディオンスマートアプリ」のリリースや「CEATEC2025」への出展を通じてIoT事業を推進しております。

また、「くらしを、新しい角度から。」をコンセプトとしたプライベートブランド家電「e angle (イーアングル)」を強化し、お客様の利便性向上に努めております。

さらに、一般社団法人 障がい者自立推進機構が運営する障がい者アーティストの自立推進に繋がる活動「Paralym Art®」への賛同や、子会社である株式会社イー・アール・ジャパンと連携した小型家電のリサイクルや発泡スチロールの再資源化への取り組みを通じて地域社会への支援や循環社会の実現に向けて活動しております。

今後も当企業グループは、コーポレート・メッセージである「買って安心 ずっと満足」を実現させるための取り組みを推進してまいります。

当中間連結会計期間の商品別売上ににつきましては、記録的な暑さが早い時期から到来し、特に6月の月平均気温が統計開始以降最も高くなるなどしたため、エアコンなどの季節商品は4月から6月の第1四半期は好調でした。しかしながら、猛暑は7月以降も続き依然として需要は高いものの、消費が先行した影響などから上半期では季節家電は前年を下回る結果となりました。

一方、2025年10月にサポート終了となったWindows10搭載パソコンの買い替え需要により、パソコンが伸びました。

また、携帯電話については、高機能な新商品の発売や底堅い買い替え需要に下支えされ、販売台数の大幅な伸びを記録しました。

この他、家庭用ゲーム機の新商品発売も影響し、ゲーム・玩具は前年を大きく上回りました。

当中間連結会計期間の店舗展開につきましては、家電直営店として以下のとおり2店舗を新設、2店舗を移転、2店舗を閉鎖いたしました。また、フランチャイズ店舗は9店舗を新設、16店舗を閉鎖と7店舗の純減少となりました。これにより当中間連結会計期間末の店舗数はフランチャイズ店舗729店舗を含めて1,183店舗となりました。

エディオングループ家電直営店出退店状況

年月	店舗名	都道府県	区分
2025年4月	エディオン イオンモール広島祇園店	広島県	移転
	エディオン 諫早店	長崎県	移転
	エディオン 豊橋ミラまち店	愛知県	新設
5月	エディオン じゃんぼスクエア熊取店	大阪府	新設
6月	エディオン 八事店	愛知県	閉鎖
7月	エディオン 滝ノ水店	愛知県	閉鎖

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、3,856億68百万円（前年同期比101.4%）と増加いたしました。また、営業利益は137億87百万円（前年同期比95.1%）、経常利益は143億53百万円（前年同期比95.5%）、親会社株主に帰属する中間純利益は93億36百万円（前年同期比93.1%）とそれぞれ減少しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産に関する分析

総資産は、前連結会計年度末と比較し125億80百万円減少し、4,222億50百万円となりました。これは売掛金が86億59百万円、主に未収入金の減少により流動資産の「その他」が39億47百万円それぞれ減少したこと等により流動資産が126億75百万円減少し、また、有形固定資産が6億54百万円、無形固定資産が7億32百万円、繰延税金資産が7億96百万円減少した一方、投資有価証券が4億67百万円、主にCVCファンド「Brand New Retail Initiative Fund」への出資等により投資その他の資産の「その他」が18億71百万円増加したこと等により固定資産が94百万円増加したためであります。

負債は、前連結会計年度末と比較し195億60百万円減少し、1,923億24百万円となりました。これは1年内返済予定の長期借入金固定負債から振り替えられたことにより58億20百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が21億97百万円、短期借入金が60億円、1年内償還予定の新株予約権付社債が25億10百万円、未払法人税等が11億95百万円、契約負債が23億3百万円、主に未払金の減少により流動負債の「その他」が31億59百万円それぞれ減少したこと等により流動負債が118億98百万円減少し、また、長期借入金が流動負債に振り替えられたことにより78億49百万円減少したこと等により固定負債が76億62百万円減少したためであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し69億79百万円増加し、2,299億25百万円となりました。これは主に剰余金の配当により25億15百万円減少したものの、親会社株主に帰属する中間純利益により93億36百万円増加したためであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末と比較し2億25百万円増加し、90億60百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、204億38百万円（前年同期に得られた資金は283億1百万円）となりました。

これは、税金等調整前中間純利益が140億60百万円、減価償却費が55億86百万円、売上債権の減少による資金の増加が86億59百万円、未収入金の減少による資金の増加が38億89百万円、仕入債務の減少による資金の減少が21億97百万円、契約負債の減少による資金の減少が23億3百万円、法人税等の支払額が53億73百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、73億53百万円（前年同期に使用した資金は72億87百万円）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が45億75百万円、無形固定資産の取得による支出が9億73百万円、差入保証金の差入による支出が8億54百万円、主にCVCファンド「Brand New Retail Initiative Fund」への出資等による投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」の支出が9億84百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、128億60百万円（前年同期に使用した資金は236億75百万円）となりました。

これは、短期借入金の純減による資金の減少が60億円、長期借入金の返済による支出が20億16百万円、自己株式の取得による支出が28億57百万円、配当金の支払額が23億30百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日公表の業績予想から変更はありません。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,834	9,060
売掛金	42,809	34,149
商品及び製品	120,087	119,795
その他	19,532	15,585
貸倒引当金	△90	△92
流動資産合計	191,173	178,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	61,650	61,358
工具、器具及び備品(純額)	5,734	5,686
土地	101,889	101,868
リース資産(純額)	3,385	2,951
建設仮勘定	2,047	2,269
その他(純額)	983	901
有形固定資産合計	175,690	175,036
無形固定資産		
のれん	2,710	2,489
その他	9,223	8,712
無形固定資産合計	11,934	11,201
投資その他の資産		
投資有価証券	5,401	5,868
差入保証金	27,349	27,289
繰延税金資産	18,317	17,521
その他	5,243	7,114
貸倒引当金	△279	△279
投資その他の資産合計	56,032	57,514
固定資産合計	243,657	243,752
資産合計	434,830	422,250

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,525	39,328
短期借入金	31,255	25,254
1年内返済予定の長期借入金	3,470	9,290
1年内償還予定の新株予約権付社債	2,510	—
リース債務	916	867
未払法人税等	6,082	4,886
未払消費税等	3,226	2,854
賞与引当金	6,107	6,177
契約負債	33,553	31,250
その他	15,572	12,412
流動負債合計	144,220	132,322
固定負債		
長期借入金	40,667	32,817
リース債務	2,956	2,539
繰延税金負債	270	245
再評価に係る繰延税金負債	1,623	1,623
退職給付に係る負債	4,544	4,885
資産除去債務	12,410	12,548
その他	5,190	5,340
固定負債合計	67,664	60,002
負債合計	211,884	192,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,940	11,940
資本剰余金	84,453	83,612
利益剰余金	138,602	145,423
自己株式	△10,126	△9,521
株主資本合計	224,870	231,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,142	1,457
土地再評価差額金	△4,475	△4,475
退職給付に係る調整累計額	981	1,006
その他の包括利益累計額合計	△2,351	△2,011
非支配株主持分	427	481
純資産合計	222,946	229,925
負債純資産合計	434,830	422,250

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	380,500	385,668
売上原価	265,720	270,380
売上総利益	114,779	115,287
販売費及び一般管理費	100,281	101,500
営業利益	14,498	13,787
営業外収益		
受取利息及び配当金	82	80
受取手数料	9	327
受取事務手数料	167	190
その他	562	454
営業外収益合計	822	1,052
営業外費用		
支払利息	210	301
支払手数料	43	46
その他	39	138
営業外費用合計	293	486
経常利益	15,027	14,353
特別利益		
固定資産売却益	66	8
受取補償金	—	213
その他	8	—
特別利益合計	74	222
特別損失		
固定資産売却損	13	0
固定資産除却損	195	398
投資有価証券評価損	12	—
その他	37	117
特別損失合計	259	515
税金等調整前中間純利益	14,842	14,060
法人税、住民税及び事業税	4,658	4,054
法人税等調整額	102	614
法人税等合計	4,760	4,669
中間純利益	10,082	9,391
非支配株主に帰属する中間純利益	50	54
親会社株主に帰属する中間純利益	10,031	9,336

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	10,082	9,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	315
退職給付に係る調整額	86	24
その他の包括利益合計	50	340
中間包括利益	10,132	9,731
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	10,082	9,676
非支配株主に係る中間包括利益	50	54

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	14,842	14,060
減価償却費	5,471	5,586
のれん償却額	171	221
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△19	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	501	69
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△171	341
受取利息及び受取配当金	△82	△80
支払利息	210	301
固定資産除却損	195	398
売上債権の増減額 (△は増加)	5,707	8,659
未収入金の増減額 (△は増加)	7,170	3,889
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△274	234
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,750	△2,197
契約負債の増減額 (△は減少)	△1,767	△2,303
その他	878	△3,285
小計	31,083	25,897
利息及び配当金の受取額	61	59
利息の支払額	△212	△300
助成金の受取額	4	8
法人税等の還付額	145	147
法人税等の支払額	△2,782	△5,373
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,301	20,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,172	△4,575
有形固定資産の売却による収入	764	35
無形固定資産の取得による支出	△921	△973
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△78	—
差入保証金の差入による支出	△767	△854
その他	△1,112	△984
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,287	△7,353
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△18,547	△6,000
長期借入れによる収入	8,000	—
長期借入金の返済による支出	△8,395	△2,016
自己株式の取得による支出	△1,578	△2,857
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	△418	840
配当金の支払額	△2,225	△2,330
その他	△509	△497
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,675	△12,860
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,661	225
現金及び現金同等物の期首残高	12,011	8,834
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,349	9,060

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年8月2日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において自己株式1,476,800株の取得を行ないました。

また、当中間連結会計期間において、転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の権利行使等により、自己株式が2,390,164株減少しております。

この結果等により、当中間連結会計期間において自己株式が605百万円減少し、当中間連結会計期間末において自己株式が9,521百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)及び当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当企業グループの事業セグメントは、家庭電化商品等の販売及びその他の事業であります。その他の事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。